

「人権の学び」をサポートします！！

人権について「学び」を重ねることはとても大切なことです。学びを重ねることの一部を三田教は補助金としてご支援します。あなたが「よりよく生きるために」そして「幸せになるように」三田教のサポート事業を活用してください。

結

人権の自主学習グループ 支援サポート事業

人権にかかる自主学習グループの学習経費（講師料、バスレンタル料、交通費、印刷代、消耗品代、入館料、会場費など）の半額（上限3万円）を補助します。
※グループの登録申請が必要です。

学

人権学習 支援サポート事業

各組織、団体、地域、PTA、企業等の人権に関する学習の経費（講師料、交通費、印刷代、消耗品代、会場費など）の半額（上限3万円）を補助します。

逢

視察研修 支援サポート事業

各組織、団体、地域、PTA、企業等で人権に関する施設等の視察・交流学习の経費（バスレンタル料、交通費、通行料、入館料など）の半額（上限3万円）を補助します。

◎人権学習や視察研修等のご相談は、市人権推進課（4面上）までお気軽にご連絡ください。

※いずれのサポートも、飲食費用は対象になりません。

「学びの蔵」～ビデオを見て人権研修！～

人権推進課では、企業や団体等の人権研修に活用するために、啓発ビデオをそろえています。詳しくは平成25年度発行視聴覚教材一覧「学びの蔵」をご覧ください。ご希望の方は、人権推進課までお申し出ください。

三田教 三田幸せプロジェクト～明るい未来へ～

＜人権について一緒に考えましょう＞
平成 25 年 8 月 25 日（日）総合福祉保健センター・ウッドタウン市民センター・広野市民センターにて、開催します。
詳しくは7月15日発行の人権さんに掲載します。
※午前の部(9時45分～12時15分)、午後の部(13時30分～16時)

わたし

No. 134

出会う 気づく つながる

「小さなあいさつ、大きな出会い」

堀江 昭彦さん 学園小学校 P T A

毎朝のサッカー練習

長男がサッカーを始めたのは小学校2年生の頃でした。子どもの健やかな成長を願い何かスポーツをやらせたい、そんな親の気持ちから近くの公園でやっていたサッカー教室に通わせました。長男はすぐにサッカーに夢中になり、もっと試合ができるチームに入って試合がしたいと言ってきました。3年生の頃にサッカーチームに入り本格的にサッカーを始め、週末の試合や練習に長男は益々熱中していききました。サッカーに熱中するようになると、もっと上手になりたいという気持ちが芽生えてきたようで、「毎日練習しよう！」と長男と二人で決意し、私は朝5時30分に起きてサッカーの練習をするようになりました。



朝の挨拶

毎朝、眠い目をこすり仕事の疲れが残る体を起こし、近所の公園まで行って練習をしました。いろんな方がランニングやウォーキングを楽しまれています。ご夫婦の方、友達同士、ひとりで黙々と、それぞれ朝の爽やかな時間を過ごされていきました。
嬉しかったのは、皆さんに出会うと「おはようございます。」と大きな声と笑顔であいさつをしていただけのことです。この『おはよう』のあいさつで私達は爽やかな一日のスタートを切ることができ、練習でもいい汗を流せました。
あいさつは当たり前のことだと思えますが、わたしはこの『当たり前』にとても感動しました。普段、人と出会ったらいさつをします。でも実際はできていない事が多いのです。例えば、朝のエレベーターで子どもたちに会うとうつむいたまま。顔を見て『おはよう』と一言のあいさつで気持ちのいい一日のスタートが切れるのに・・・。

あいさつからコミュニケーションへ

そんな朝の練習を毎日続けていると、あいさつからコミュニケーションが生まれます。練習中に公園を散歩で通られる、年配のご夫婦に声をかけていただきました。

はじめは「今日もがんばっているね。」「うまくなってきたね。試合はいつ？」くらいでしたが、次第にいろいろなお話をさせていただくようになりました。同じマンションに住んでいること、お孫さんもサッカーをしていること、男性の方が熱中されている（スポーツ吹き矢）のことなど。お二人に出会えない朝は「風邪でもひかれたかな？」と心配するようにもなり、また、バレンタインデーには長男にチョコプレートを送ったこと、とても親しくさせていたことになりました。

長男のサッカークラブも練習が実を結び、6年の春、フットサルの全国大会に出場することができました。そのことをご夫婦に伝えると、とても喜んでくださいました。そして、わざわざ遠方の神社まで『勝利のお守り』を買って行ってくださり「練習がんばったもんね。きつと勝てるよ。」と励ましの言葉と一緒にいただきました。それを遠征用のバッグに付けて、ご夫婦のありがたい気持ちと一緒に決戦の舞台、横浜に向かいました。そして、力いっぱい試合に挑むことができました。



「これからも、大切にしていきたい『当たり前』」

そんな出会いがあり長男は小学校を卒業し、今は次男が朝の練習を続けています。
今も「おはようございます。」の笑顔のあいさつに元気づけられています。あいさつはとても小さなことです。しかし人と人がお互いを認め合って、つながり合うことはとても大切なことだと私は思います。最近では地域のつながりも薄れてきていると言われていますが、こうした当たり前の小さなあいさつだけで、年代を超えたコミュニケーションも生まれるのです。これからも小さなあいさつを大切にしていきたい、大きな出会いをしていきたいと思えます。そして『当たり前』のできる人間でありたいと思えます。